



お金があっても幸せは買えない

新年の墓参りの際、あるお寺の山門に「お金」について考えさせられる言葉が貼られていました。紹介しましょう。

家を買っても、家庭は買えない
本を買っても、知恵は買えない
薬を買っても、健康は買えない
地位を買っても、尊敬は買えない
友達を買っても、友情は買えない
時計を買っても、時間は買えない
出会いは買っても、愛は買えない
お金があっても、幸せは買えない

世の中には、お金で買えるものと買えないものがあるということを教えてくれます。そして、家庭、知恵、健康、尊敬、友情、時間、愛、幸せのようにお金で買うことができないものが私たちが豊かに生きていく上で大切なものなのだとすることも教えてくれます。

美味しいものを食べようと思うとお金がかかります。大きな家に住もうと思うとお金がかかります。きれいな服を着ようと思うとお金がかかります。このように、お金は私たちが生活をしていく上でとても大切なものなのです。しかし、お金があれば何でも手に入るということはないのです。

今の時代、お金が何よりも大切なものだと考える人が多くなっているのではないのでしょうか。お金の価値について、間違った認識をしている人のせいで、世の中には、お金が原因で聞きたくない、悲惨な事件が毎日のように起きています。「お年寄りをだまして（詐欺行為で）お金を奪う」「お金が欲しかったので、人を襲い命まで奪う」「楽に稼げるというバイト（闇バイト）に応募し、犯罪に加担した」等のような事件が多くなっています。

一生懸命働いて、お金を得る。そのお金で、生活に必要なものを買って、家族があれば家族のために使う、こどもの教育費も必要になることなのでしょう。生活をするためにはお金は必要です。

お金には、もう一つの使い方があります。自分のためではなく、人のために、困っている人のためにという使い方があります。みなさんの中には、歳末助け合い募金や日本各地で災害が起きたときに募金される方も多いのではないのでしょうか。そして、世界に目を向けると、家がない、食べるものがなくて困っておられる人がたくさんおられます。戦争や紛争地で、寒いのに暖房設備のない家で生活をしている人たち、家を焼かれたり、奪われたりして住む家のない人たちがいます。そのような人たちは世界中には何億人がおられるのでしょうか。そのような人たちに思いを寄せ、寄付するという使い方もあります。素敵なお金の使い方といえるのではないのでしょうか。

それぞれの家庭で、お金の価値について、そしてお金の使い方について考えてみませんか。こどもの生き方が変わってくるかもしれません。